

棉產國に張切る活況 輸出は昨年より増加

來年度の景氣はどうなる

米農務省、世界の動き打診

ジル百萬箱、印度七十萬箱

から二月二日迄である

△國際銀行家訪問

△國際復興銀行貸付局長サイ

リエム・イスラス氏が去る二

月リオ市へ到着した

△米農業部予想されば

予定の計畫が實現されば

者最大の關心事であらねば

ならぬと思うので、次に棉

花の世界的動きを打診して

見るか、これは一般操業

者最大の關心事であらねば

ならぬと思うので、次に棉

花の世界的動きを打診して

連鎖を斷ち獨立へ

産聲擧げた アイルランド

但し共和國宣言日は未定

サンバッカの投書

「思ふまことに對し 私は斯く思ふ

ゴンバッカ 河野生

讀者の聲

サンバッカ新聞への投書

【ダブリン二日 I.N.S】

アイルランド議會は今夜最

終議會に於てアイル蘭と

共和國創設法案を承認した

右の法案承認によりアイル

ドーリーの投書

ヨードもついた一九四六年

三九七年迄の第二次世界大

戦前五年間に於ける生産量

平均は一千三百三十四万五

千桶であつた、そして一九四

四七年の棉花の世界輸出

は八百九十万桶（一桶五百

エーブト百六十萬桶、アラ

右の数字は、戰後最大のレ

ヨードもついた一九四六年

三九七年迄の第二次世界大

戦前五年間に於ける生産量

平均は一千三百三十四万五

千桶であつた、そして一九四

四七年の棉花の世界輸出

は八百九十万桶（一桶五百

エーブト百六十萬桶、アラ

右の数字は、戰後最大のレ

ヨードもついた一九四六年

三九七年迄の第二次世界大

戦前五年間に於ける生産量

平均は一千三百三十四万五

千桶であつた、そして一九四

四七年の棉花の世界輸出

は八百九十万桶（一桶五百

エーブト百六十萬桶、アラ

右の数字は、戰後最大のレ

ヨードもついた一九四六年

三九七年迄の第二次世界大

戦前五年間に於ける生産量

平均は一千三百三十四万五

千桶であつた、そして一九四

四七年の棉花の世界輸出

は八百九十万桶（一桶五百

エーブト百六十萬桶、アラ

右の数字は、戰後最大のレ

ヨードもついた一九四六年

三九七年迄の第二次世界大

戦前五年間に於ける生産量

平均は一千三百三十四万五

千桶であつた、そして一九四

四七年の棉花の世界輸出

は八百九十万桶（一桶五百

エーブト百六十萬桶、アラ

右の数字は、戰後最大のレ

ヨードもついた一九四六年

三九七年迄の第二次世界大

戦前五年間に於ける生産量

平均は一千三百三十四万五

千桶であつた、そして一九四

四七年の棉花の世界輸出

は八百九十万桶（一桶五百

エーブト百六十萬桶、アラ

右の数字は、戰後最大のレ

ヨードもついた一九四六年

三九七年迄の第二次世界大

戦前五年間に於ける生産量

平均は一千三百三十四万五

千桶であつた、そして一九四

四七年の棉花の世界輸出

は八百九十万桶（一桶五百

エーブト百六十萬桶、アラ

右の数字は、戰後最大のレ

ヨードもついた一九四六年

三九七年迄の第二次世界大

戦前五年間に於ける生産量

平均は一千三百三十四万五

千桶であつた、そして一九四

四七年の棉花の世界輸出

は八百九十万桶（一桶五百

エーブト百六十萬桶、アラ

右の数字は、戰後最大のレ

ヨードもついた一九四六年

三九七年迄の第二次世界大

戦前五年間に於ける生産量

平均は一千三百三十四万五

千桶であつた、そして一九四

四七年の棉花の世界輸出

は八百九十万桶（一桶五百

エーブト百六十萬桶、アラ

右の数字は、戰後最大のレ

ヨードもついた一九四六年

三九七年迄の第二次世界大

戦前五年間に於ける生産量

平均は一千三百三十四万五

千桶であつた、そして一九四

四七年の棉花の世界輸出

は八百九十万桶（一桶五百

エーブト百六十萬桶、アラ

右の数字は、戰後最大のレ

ヨードもついた一九四六年

三九七年迄の第二次世界大

戦前五年間に於ける生産量

平均は一千三百三十四万五

千桶であつた、そして一九四

四七年の棉花の世界輸出

は八百九十万桶（一桶五百

エーブト百六十萬桶、アラ

右の数字は、戰後最大のレ

ヨードもついた一九四六年

三九七年迄の第二次世界大

戦前五年間に於ける生産量

平均は一千三百三十四万五

千桶であつた、そして一九四

四七年の棉花の世界輸出

は八百九十万桶（一桶五百

エーブト百六十萬桶、アラ

右の数字は、戰後最大のレ</

NOTICIAS DO BRASIL

Diretor-Interino e Proprietario: SEISAKU KUROISHI

Fundado em 1917

Redação, Administração e Oficina: Rua Caramuru, 63 — Telefone, 2-2837 — Caixa Postal, 3148 — São Paulo

N.º 2.800

ANO XXXXI

SÃO PAULO, Segunda-feira, 6 DE DEZEMBRO DE 1948

Circula às Segundas, Quartas e Sextas

希望を抱いていた私は、學友の中學大學へと進んで行くのを見て、百姓である己下に迷み、人類の

日彰旗燃然として大陸にひるがえるが、大東亜建設は着々と進み、恒久世界平和確立に、勇猛邁進する。この美望と名譽に憧憬、如祖国日本と相呼應し、我等在伯同胞も、聖業實質の細胞として、極力國家的に民族的新秩序建設に努力しなければならない、創造的時局に直面して居ると信ずるのであります。

私はこの非常時向下に、一百回打し覺醒せしめたものは、姓として農業につきはる農事身を切り、炎熱燃焼がるものでありますか、かつて如き彼の大陸の奮闘と相應に農学校に進み度いとの御を執る皇軍の奮闘と相應に、その間の人の苦心、

祖國と共に

ビラツキ雄辯大會一等入選

八重子を想ふ

一八の主人沖山から夢想はなかつた八重子の死を知つた帆吉。殆んど死せんなりの衝動に駆られ、自分の唇で燃ゆる舌をはずし、溢る想ひ一本の水薙にたくして呪の帆吉の抱きの庭に忍ばせ、優らしい彼女の心根、娘の去つたあと波荒に立つて飛んで行き翼が欲しや、空とぶ千千身が欲しや、幾夜、幾夜籠原の空を仰いだことつたか、やるせないそひは雄々しくも遠征し吉の懐に飛び込まし、離れた波音が死ぬ声に父に手をとらねがい「帆吉さん南洋」とか「出づつゝ天國に召され

山中說法

思ひ起せば感激を新たにす
され
友空軍史に舞く梅林中尉が火
焰に包まれるる愛國の中よ
り一僚機よさらば」と訣別
のハンカチを打振り、七条
通に進
報國の念に燃えゝ、南京上
空の華と散りたる壯絶無比
なる戦死と云ひ、又彼のサ
イバン島全滅の際、最後に
残りし僅か十二才の少年の
如きは、暴進して來る敵戦
車を見るや、やにはに一塊
の岩石をひろい上げ、機械
兵器の真中に突入し、轟
轟る最最後を遂げたと聞き
及んだが、之等義勇の勇士
の、及ぶる者、之等義勇の勇士
の、其の名も燐として世界
をさうして此の感激の中に、
「そううなうとへの身は
無學なる微々たる存在であ
つても、吾も又民族の傳統
を享け次ぐ大日本青年とし
て國家のために殉する事が
出来るのだ、吾が体内に躍
動する愛國の熱情を、唯ひ
たゞらに御國のために傾け
盡して翻ひ抜かう」と、南
米の一角にも、生き甲斐あ
る存在を見出したのであり
ます

福のために、三千年の歴史　國のために戦ふ少年の殉國のものもとに一億國民が生命を精神こそ、之ぞ我が日本民族として、歎々として道義世界建設のために戦ひ續けるり、我等青年が確固として威風奉公の姿でありました。把握しなければならない日

暑い日の島でも、わしや
帆屋やせぬ

と唄つてゐるといふ母島の娘
を伴呂にしたらと、今更一
八商店の沖山のさぐりに興
味を呼び起した。

春さんの家の帆吉の住ひは
もうその頃では島の青年が
ら少年、中年、娘たちの心
惜きなく集る集会場となつ
た感がある。日暮になると
誰か彼かど来ては帆吉の飯
をたいて呉りるし、魚まで
持つて來て煮たり焼いたり
してくれる、娘たちが二、
三人集ると洗濯まで何の届
托も遠慮もなくして呉れた
そして一時他愛もない話題
キナック、「打ち越す」のが
常で、夜は十二、三人の青
年が、面白半分に讀み書き
を習ふ名目で詰めかけてわ
い／願いはしやぐのア帆
吉はちつとも退屈は感じな
かった。

一母島の人はね、毎年九
月になると皆んな艤舟を
出して平島へ行つて一日
遊ぶのです、そりや面白
いんでよ、男の人は海
に潛れて魚を突いたり、
釣をしたり、私たちは磯
貝を採つたり、カサゴ
を釣つたり、そしてお畫
にはとつたお魚や蟹や貝
を焼いて食べるのです、
……」

ト富美枝が説明役をつとめ
た。

「そりや素的に面白そう
ですね、僕も行きますよ
皆行くんですねか」

帆吉の語尾は弾んだ、青年
たちも娘たちも大満悦の態
だ母島の潮干狩も年中行事
の一つで、村人が四艘、五
艘の縄舟に乘込んで沖村の
真前に浮んだ白砂の平島

◇ 井出ひろむ イタヤリ	
***** 時 *****	
◇ 打續し山の綠葉春みきて 車窓の眺めにあかず過ぐ るも	◇ ほがらかな娘にありき今 は亡き故人とし聞けば夢 かとぞ思つ
◇ 汽車の旅出づる時は忘れ なく歌集かた手にたのし き我かな	◇ 實にしゆん馬の美はしき 朝は驕くる 露野原
◇ 夜業終えて汗流さむと深 川の流れに来れば夕べ涼 しも	◇ なつかしの道 小二世 齋藤光之
◇ 夜仕事に都屋の籠居夏の夜 のみじかく過ぎて夜は 更けにけり	◇ 投稿歓迎 ◇ 創作、隨筆、詩、俳句 短歌、論説（餘り過激 ないもの）等々 原稿は一切返却せず 取扱選擇は編輯部一任 右御承知の上投稿願ひ す 編輯部
◇ しみぐと語りて慰む友 達のはししと思ふ春の夜 の月	◇ 土曜日晚と日曜日開庫、閲覧無料 ルア・ブルデンテ支社 ルア・ボカイナ五七二
◇ 三、浦文庫 書店	ルア・パロン・ド・リオ・ブランコ七 五

◇ 盛業中のキ
格安、他の
家は直ちに引
◇ 手頃の時計
照會凡
聖市マリ
ジヨ
（電

中央日報
中華人民共和国
事業に轉業の爲
タンタ住宅付き
渡します
店セビメント多し
アキナ街二〇四番
車ルビノ・ダ・オリベーラ近く

オリンピア驛より十五杆
リベイロ・デ・サントス驛より七杆
ノリバ・グラナ・ダ驛より三十杆 地点
パレットスト駛より四十五杆
各方面より一日數回の乗合自動車が通つて居ります
尙無料宿舎は觀世音様の御堂に接続完成して居りますから幾日でも御遠慮無く御滞在下さい
か御信仰のお方は御詣り下さい
觀世音開拓地

グワラシイ市に變更移轉致しました

空箱部

●トマテ用果實用、新舊各種取揃へてあります
●空箱の御用は永年皆様方に多大の御用命に預つて居ります
何卒御用命の程を

<p>北 パ ラ ナ の 最 も 完 備 せ る 病 院</p> <p>内 科、外 科、婦 人 科、耳 鼻、咽 喉 科 精 神、神 錄 科、X 光 線、電 气 治 療</p> <p>ロ ー シ ャ・ロ ー レ 斯 病 院</p> <p>日本 人 看 護 人 及 看 護 婦 居 里 ま す</p> <p>二 十 年 の 經 験 を 有 す る 日 本 人 産 婆 も 居 里 ま す</p> <p>ロ ー ノ ト・ロ ー ナ 市</p> <p>マ フ ト・ケ ロ ッ ソ 橋 カ サ バ ラ 橋 の</p> <p>御 信 仰 の 一 般 皆 様 へ</p> <p>金 龍 山 浅 草 寺 觀 世 音 菩 薩 堂 の</p> <p>所 在 地 を 御 知 ら せ 申 上 ま す</p> <p>こ れ ま で サ イ バ ウ ロ ゴ ヤ ス 線 ア タ イ ル 驛 に 在 り ま し た が 都 合 一</p> <p>ア リ ア を 買 ふ な ら</p> <p>強 い 「ア ン フ ー ケ 斯」 に 限 る</p> <p>・ キ ン ゼ の 三 十 五 番</p> <p>の 最 終 は</p> <p>二 月 廿 九 日</p> <p>三 千 コ ン ト ス</p> <p>非 一 改 忘 れ な く</p>	<p>Casa de Saude Maternidade "ROCHA LOURES"</p>
---	--